

ニューファミリーシリーズ

住宅用壁付きハンドシャワー式
シャワーバス水栓(切換え)18

TOTO

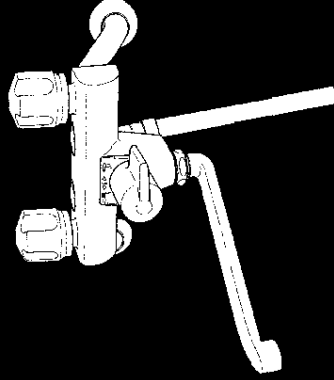
ご愛用のしおり

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)



- このたびは、TOTO住宅用壁付きハンドシャワー式シャワーバス水栓をお求めいただきました。まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ

安全上の注意	1～2
特長・各部のなまえ	3～4
つかいかた	5～6
使用上の注意	7
凍結予防のしかた	8
手入れのしかた	8
故障したときは	9

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。



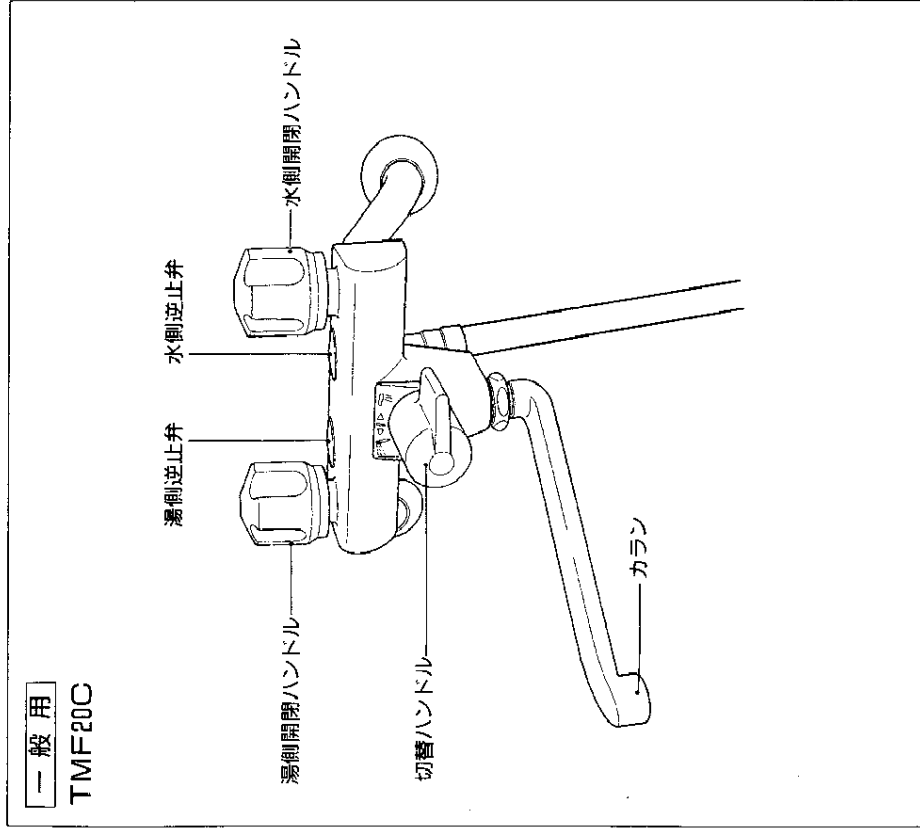
注意

- (1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (2)お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。
カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。
- (4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。
直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。(カラン付)

- (5)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
- (6)湯を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
- (7)湯をお使いになるときは、必ず水側ハンドルから開けてください。その後徐々に湯側ハンドルを開け、お好みの温度に調節してください。
湯側を先に開けると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。
- (8)他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
やけどのおそれがありますので、シャワー使用時の2カ所同時使用はなるべく避けてください。(シャワー付)
- (9)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。
切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。(切替弁付)
- (10)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)
- (11)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

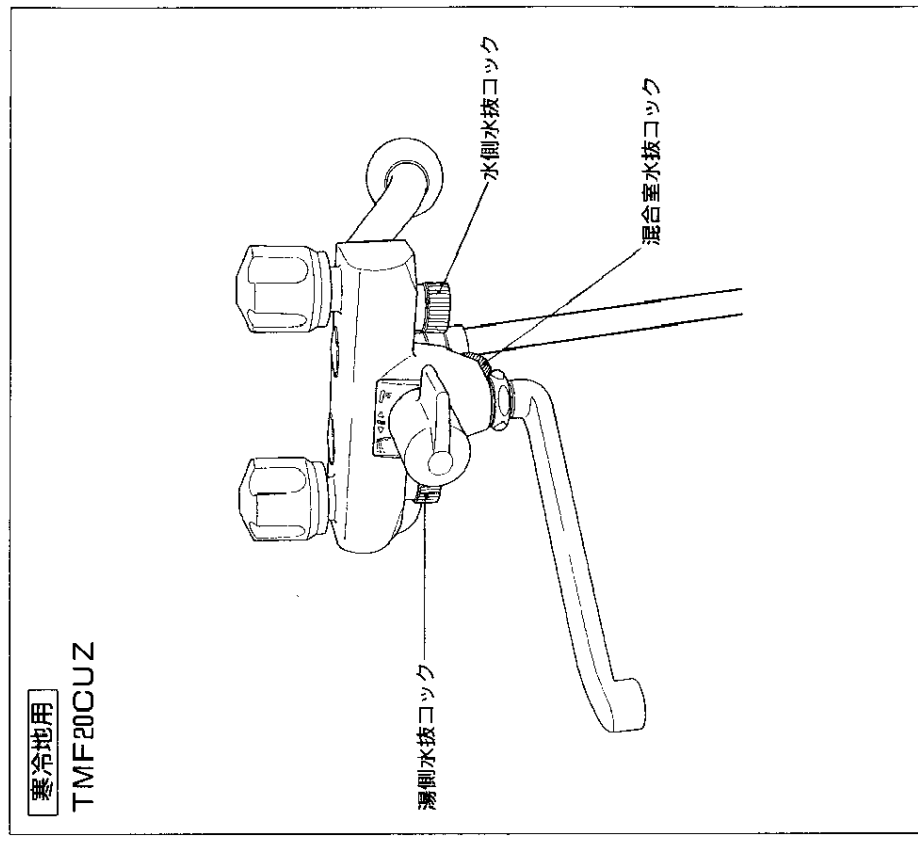
特徴・各部のなまえ

1. シャワー・バスへの切替えと適温の状態で一時的に止水できる切替ハンドルが付いています。したがって一度温度調節をしておけば、あとは切替ハンドルを操作するだけで同じ温度の湯を出すことができます。
2. 湯水のハンドルは樹脂製ですので湯側も熱くなりません。



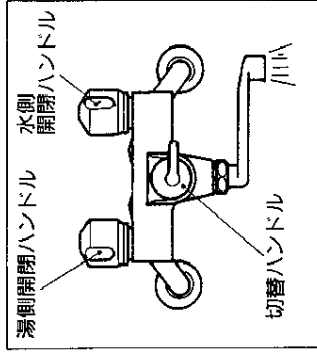
3. 適温に調節したままで一時的に止水ができますので、温度調節のために無駄な水を流すことはありません。

4. 寒冷地用は、器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。



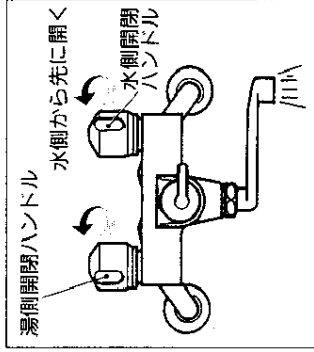
つかいかた

1. カラン吐水



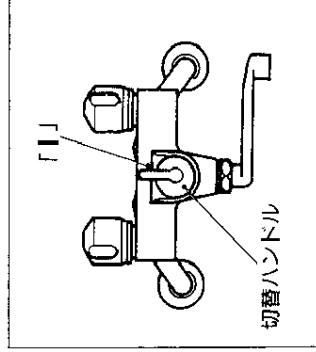
切替ハンドルを右に回すとカランから吐水します。右へ一杯に回すと吐水量が最大になります。

2. 温度、吐水量調節



まず水側開閉ハンドルを開き、その後湯側開閉ハンドルを開いて温度及び吐水量を調節してください。(※湯側から開くといきなり熱湯が出て危険です。)ただし、給湯機が瞬間型の場合は、湯側開閉ハンドルを全開状態まで開き、次に水側開閉ハンドルで湯加減をしてください。

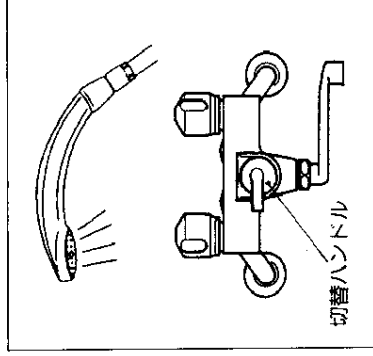
3. 一時止水



湯を一時止めたいときは切替ハンドルのレバーと「II」を合わせてください。

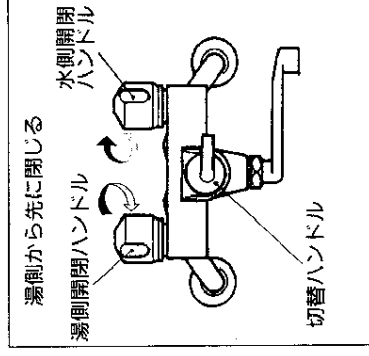
※使用中の一時止水のときだけ使用してください。

4. シャワー吐水



切替ハンドルを左に回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと吐水量は最大になります。

5. 使用後の止水



使用後は、必ず切替ハンドルをカラン側に回し、湯側、水側の順で開閉ハンドルを閉じてください。

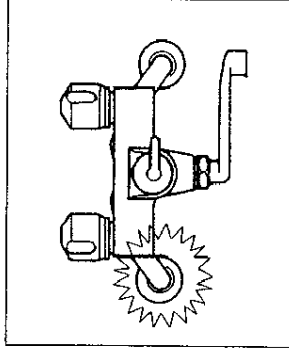
※湯側開閉ハンドルを必ず先に閉じてください。水側開閉ハンドルを先に閉じると熱湯が出るので危険です。

※切替ハンドルは必ずカラン側に回してください。
切替ハンドルをシャワー側に回しておくと、次に使用するときにいきなりシャワーをあびる恐れがあります。

使用上の注意

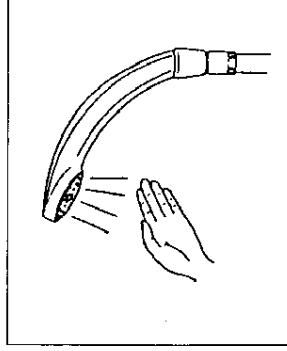
熱湯を使用しますので、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. やけどに注意



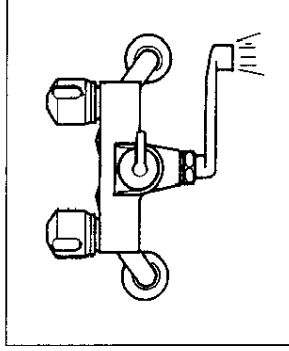
器具の左側は給湯側のため、高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようご注意ください。

2. 使用前に湯温を確かめる



湯加減を調節後、そのままの状態でカラシ側からシャワー側へ、またはシャワー側からカラシ側へ切替えた場合、湯温が変化することがあります。シャワーまたはカラシ側へ切替えたときは、もう一度手で湯温を確かめてからご使用ください。

3. しばらく吐水させて使用する



一時止水後再使用するときは、給湯配管内に溜っていた高温の湯や、冷水が出るなど温度が変化することがあります。しばらく吐水させ、湯温が安定してからご使用ください。

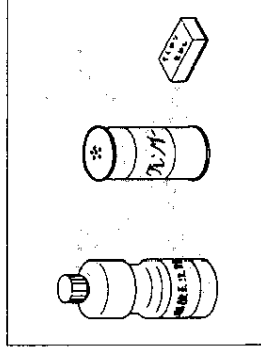
凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、同封の「水抜方法」のラベルにしたがって、器具内の水抜きをしてください。

なお、ラベルは器具の近くに貼付けておいてください。

手入れのしかた

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところは、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。ただし樹脂部に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



なお、クレンザー・みがき粉・粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわなどは、めっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときはすぐに器具を十分水洗いしてください。

故障したときは

故障の修理はお取付工事店にご依頼ください。
なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でもなおせますので修理を依頼される前に次の点検をしてください。

故障	点検箇所
水が止まらない	湯及び水側の開閉ハンドル部を分解して“シート”及び“パッキン”のごみかみ、傷等を点検する
	お取付工事店へご相談ください
切替ハンドル部から水が漏れたりハンドルが自然に回る	切替ハンドルをはずしブライヤー等で締付ナットの締め増しをする